

ノイズキャンセリング機能と低反発イヤークーピースを採用したハイコストパフォーマンスモデル

## 完全ワイヤレスイヤホン「HA-A50T」を発売

～口径10mmの高音質ドライバーによりノイズキャンセリング効果を強化し、パワフル＆クリアなサウンドが楽しめる～

株式会社JVCケンウッドは、JVCブランドより完全ワイヤレスイヤホンのノイズキャンセリング機能搭載モデルとして、ワイヤレスステレオヘッドセット「HA-A50T」を、11月中旬より発売します。

本機は、ノイズキャンセリング機能を搭載し、さらに付属の低反発イヤークーピースも使うことで遮音性と装着性をより高め、周囲の騒音を気にせず快適なリスニングを楽しめます。口径10mmの高音質ドライバーによりノイズキャンセリングの効果を強化したパワフル＆クリアなサウンドを安定したワイヤレス接続で実現するハイコストパフォーマンスモデルです。

品名	型名	本体カラー	希望小売価格 (税抜き)	*市場推定価格 (税抜き)	発売時期
ワイヤレス ステレオヘッドセット	HA-A50T	A：ブルー	オープン価格	10,000円前後	11月中旬
		B：ブラック			
		H：トープ			

\*「市場推定価格」は、発売前の商品について、市場での販売価格を当社が推定したものです。なお、商品の実際の販売価格は、各販売店により決定されます。



### <企画意図>

完全ワイヤレスイヤホン市場は近年、ケーブルを気にせずリスニングが楽しめる快適さからユーザーがますます増えており、市場も急拡大を続けています。当社でも昨年11月の発売よりロングランでヒットしているエントリーモデル「HA-A10T」や、11月上旬発売予定の「HA-A7T」など、完全ワイヤレスイヤホンの各種モデルを市場展開しています。

一方、通勤・通学中をはじめ、テレワークなどでの使用においては、周囲の騒音を低減するノイズキャンセリング機能へのニーズも高まっています。そこで今回当社は、気軽にノイズキャンセリング機能を活用できる「HA-A50T」を発売します。

本機は、ノイズキャンセリング機能の搭載に加え、耳穴にフィットする付属の低反発イヤークーピースを使用することで、より遮音性を高めることができます。さらに、口径10mmの高音質ドライバーによりノイズキャンセリングの効果を強化し、パワフル＆クリアなサウンドが楽しめます。

また、充電ケースから出し入れするだけで自動的に電源のオン/オフやワイヤレス接続が可能。左右それぞれの本体でタッチオペレーションすることで、ボリューム調整/再生などの基本操作やノイズキャンセリング機能のオン・オフ、さらにイヤホンを付けたままでも会話を可能にするタッチ&トーク機能のオン・オフも簡単に行えます。安定したワイヤレス接続を実現し、好みにより付属のシリコンイヤークーピースも使用できます。

当社は本機を、遮音性を高めたノイズキャンセリング機能を搭載し、使いやすさと高音質を兼ね備えたハイコストパフォーマンスモデルとして提案します。

## <主な特長>

### 1. ノイズキャンセリング機能&低反発イヤークーピース（付属）で高い遮音性を実現

本機のノイズキャンセリング機能は、内蔵マイクで集音した周囲のノイズを打ち消す信号を高精度に生成することで、ノイズを低減。航空機内や電車内など騒音が気になる環境でもクリアな高音質サウンドが楽しめます。また、付属の低反発イヤークーピースを組み合わせることで遮音性をさらに高めるとともに、長時間の使用でもソフトな装着感を実現します。また、好みにより付属のシリコンイヤークーピースも使用できます。

### 2. 口径10mmの高音質ドライバーを搭載してノイズキャンセリング機能を強化し、パワフル&クリアなサウンドを実現

ノイズキャンセリング機能を強化するため、口径10mmのドライバーユニットを搭載。素材には高音質なサウンドを実現する高磁力ネオジウムマグネットを採用し、低域から高域までバランスよく、パワフルでクリアなサウンドを再生します。

### 3. 軽いタッチで操作ができるタッチコントロールを搭載

左右の本体を軽いタッチで操作するタッチコントロールにより、電源のオン/オフ、ボリューム調整、再生/一時停止/曲送り/曲戻しなどの基本操作が可能。ノイズキャンセリング機能や外音を取り込むことでイヤホンを付けたままでも会話を可能にするタッチ&トーク機能のオン・オフも簡単に行えます。

### 4. イヤホンを付けたままでも会話が可能なタッチ&トーク機能を搭載

タッチ&トーク機能により、買い物中や咄嗟に会話が必要な時に、ワンタッチで音量を下げるのと同時にマイクで外音を取り込み、会話をしやすくします。



<装着イメージ>

### 5. 自動で電源のON/OFFやワイヤレス接続ができる、オートオン/オフ&オートコネクト機能を搭載

一度ペアリングを完了させた端末であれば、充電ケースからイヤホンを取り出すだけで電源が入り、自動でワイヤレス接続します。また、使用後はイヤホンを充電ケースに戻すと自動的に電源が切れます。

### 6. 安定したワイヤレス接続を実現

Bluetooth®標準規格 Ver.5.0/Power Class1に対応するとともに、アンテナ位置を最適化したFPCアンテナを採用し、安定したワイヤレス接続を実現します。



### 7. 内蔵バッテリーと充電ケースで合計約32時間<sup>※1</sup>×<sup>※2</sup>の長時間再生を実現

本体のみで約8時間<sup>※1</sup>の連続再生と充電ケースでのフル充電（約8時間<sup>※1</sup>×3回）により合計約32時間<sup>※1</sup>×<sup>※2</sup>の長時間再生が可能です。また、10分の充電で約1時間<sup>※1</sup>の連続再生が可能なクイック充電にも対応しています。

※1：使用条件により変わります。

※2：ノイズキャンセリング機能使用時は約24時間。（本体のみで約6時間、充電ケースとの合計で約24時間再生）

### 8. 雨や水しぶきを気にせず使える生活防水仕様<sup>※3</sup>

※3：JIS保護等級4級（IPX4）相当。イヤホン本体のみ対応。

### 9. スマートフォンの音声アシスタント機能の起動<sup>※4</sup>に対応

※4：接続機器の仕様により、対応していない場合があります。

### 10. テレワーク時やハンズフリー通話に使用可能<sup>※4</sup>なマイクを搭載

### 11. 持ちやすい形状で落下を防止するマグネット付き充電ケースを付属



「HA-A50T-B」  
ブラック



「HA-A50T-A」  
ブルー



「HA-A50T-H」  
トープ

### <主な仕様>

型名	「HA-A50T」	
形式	ダイナミック型	
再生周波数帯域	20Hz - 20,000Hz	
通信方式	Bluetooth® 標準規格 Ver.5.0	
出力/最大通信距離	Bluetooth® 標準規格 Power Class 1/約10m <sup>※5</sup>	
対応 Bluetooth® プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP	
対応コーデック	SBC / AAC	
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式	
電池持続時間	ノイズキャンセリング OFF	イヤホン：約8時間 <sup>※1</sup> 、充電ケース：約24時間 <sup>※1</sup> (計：約32時間 <sup>※1</sup> )
	ノイズキャンセリング ON	イヤホン：約6時間 <sup>※1※2</sup> 、充電ケース：約18時間 <sup>※1※2</sup> (計：約24時間 <sup>※1※2</sup> )
充電時間	イヤホン：約2.5時間 <sup>※1</sup> 、充電ケース：約3.5時間 <sup>※1</sup>	
充電端子	USB Type-C®	
電源	DC3.7V、内蔵リチウムポリマー充電電池	
質量	イヤホン：約7.1g x 2個、充電ケース：約62g	
付属品	低反発イヤピース S,M 各2個、イヤピース S,M,L 各2個、充電用 USBType-C®ケーブル、充電ケース	

※5：2.4GHz 帯の周波数を使用した無線機器です。また通信距離は目安です。周囲の環境や建物の構造、電子レンジなど2.4GHz 帯を使用する機器や無線などの干渉により、音が途切れたり、受信距離が短くなる場合があります。

### <商標について>

●Bluetooth®のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。●USB Type-C®は USB Implementers Forum の商標です。●その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】株式会社 JVC ケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IR グループ

TEL：045-444-5310 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目 12 番地

【お客様窓口】JVC ケンウッド カスタマーサポートセンター

TEL：0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル) /

0570-010-114 (携帯・PHS からはナビダイヤル) / 045-450-8950 (一部 IP 電話)

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

www.jvckenwood.com